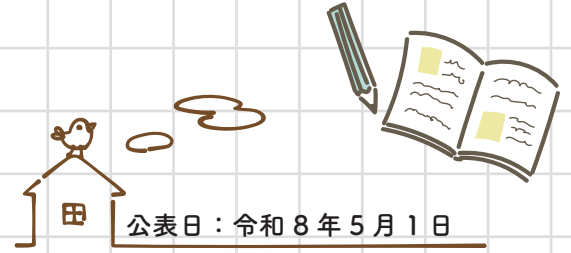


令和7年度

COMPASS 発達支援センター守口 事業所における自己評価総括表(公表)



公表日：令和8年5月1日

○事業所名	COMPASS守口発達支援センター			
○保護者評価実施期間	令和7年3月1日	～	令和8年3月31日	
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8人	(回答者数)	7人
○従業者評価実施期間	令和7年3月1日	～	令和8年3月31日	
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3人	(回答者数)	3人
○訪問先施設評価実施期間	令和7年3月1日	～	令和8年3月31日	
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	5施設	(回答数)	5施設
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月8日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先施設との連携を密に図り、情報共有や意見交換を通して一貫性のある支援をおこなっている点。	訪問時の振り返りや日常的なやり取りを通じて、園内外の様子や保護者情報も含めた多角的な理解に努めております。	今後も関係機関との連携をさらに強化し、より質の高い支援の提供に努めてまいります。
2	児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別性の高い支援をおこなっている点。	アセスメントや行動観察を通して課題を把握し、具体的かつ実践的な支援内容の設定に努めております。	今後も専門性の向上を図り、より効果的な支援の提供に努めてまいります。
3	保護者や訪問先施設に対して丁寧な説明と相談対応をおこない、信頼関係の構築に努めている点。	分かりやすく取り入れやすい助言を意識し、環境に応じた柔軟な提案をおこなっております。	今後も安心して相談いただける体制づくりと、分かりやすい情報提供に努めてまいります。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先の環境や設備により、支援内容や教員教材の活用に制限が生じる場合がある点。	訪問先ごとの環境差や設備条件により、同様の支援が実施しにくい状況があることが要因と考えております。	今後は環境に左右されにくい教材の準備や代替手段の検討を進め、柔軟に対応できる体制づくりに努めてまいります。
2	家族支援プログラムや研修機会の提供が十分とはいえない点。	訪問支援中心の業務形態により、家族参加型の機会の確保が難しいことが要因と考えております。	今後は情報提供の充実や実施方法の工夫により、参加しやすい支援機会の提供に努めてまいります。
3	支援前後の打合せや振り返りの実施状況にばらつきがある点。	訪問時間や業務状況により、全職員での共有時間の確保が難しいことが要因と考えております。	今後は記録や共有ツールの活用を徹底し、安定した情報共有と支援の質向上に努めてまいります。

